

信頼される学校であるための行動計画

令和 2 年 4 月
三重県立神戸高等学校

1 生徒・地域・保護者に信頼される開かれた学校づくりをすすめます

- ・真摯に保護者や地域の声に耳を傾け、目指す学校像、「不断の進化を続ける高品位な進学伝統校」「生徒、保護者、地域から信頼され、期待される学校」として、本校のなすべきミッションを遂行すべく学習に軸足をしっかりおいた学校経営をすすめます。
- ・今年度で全学年導入となる Classi の活用を更にすすめて通信等の配信を更にすすめると共に、学校のホームページを改訂し発信力を強化することを通じて、保護者や地域への「学校の見える化」を推進します。
- ・本校の学校の進む方向性や本校の魅力を、地域の全ての中学校に校長がより丁寧に説明に回ります。

2 職員のモラルを高めます

- ・定例の職員会議時には職員に服務規律確保や法令遵守等について、具体事例を挙げるなど、より個々の問題ととらえられるよう効果的な注意喚起を行います。
- ・体罰、セクハラ・パワハラ、及び飲酒運転の根絶、公務の適正処理、その他法令遵守を目指し、定期的に(年 3 回程度)セルフチェックを実施します。
- ・各職員との年間 3 回の校長との面談時に服務規律や法令遵守についての意見交換を行います。
- ・服務規律確保等の通知はじめ、関係文書や資料をデスクネットの回覧レポートを活用して各職員の目に届きやすいように努めます。
- ・毎週行っている管理職会において、服務規律や法令遵守について協議事項に加え、定期的に状況の確認をすると共により効果的な方策について協議します。

3 風通しが良く、働きがいのある学校職場をめざします

- ・コンプライアンスミーティングに限らず、職員会議を利用して、学年団や分掌の枠を超えて他の職員と意見交換できる場を年 2 回程度設定します。
- ・企画委員会のメンバーである学年・分掌の主任と学校経営の方向性についてフリートークを年 3 回程度実施します。
- ・年度末総括において、年度末総括のアンケートを実施し丁寧に職員の見解をくみ上げ、PDCA のサイクルを推進します。また、そのアンケートに職員満足度調査的項目を加え職場の実態を把握します。
- ・校長が職員と自由に意見交換できる場を、オンザジョブ、オフザジョブ問わず月 1 回程度設けます。